

会 議 録

会 議 名	第 2 4 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 3 回		
事 務 局	公民館本館		
開 催 日 時	平成 2 8 年 1 0 月 4 日 (火) 午前 1 0 時～ 1 1 時 3 0 分		
開 催 場 所	公民館本館 学習室 A		
出 席 委 員	小野寺委員 荻込委員 岸川委員 宗像委員 山本委員		
欠 席 委 員	花淵委員		
事 務 局 員	若藤係長 倉澤主任 笈本主事 長堀主事 加藤非常勤		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	なし
	<p>1 公民館運営審議会の報告</p> <p>2 事業の計画</p> <p>(1) 高齢者学級「シルバー大学」について</p> <p>(2) 市民講座「生きがい広場」について</p> <p>(3) 菜園教室について</p> <p>(4) まちづくり講座について</p> <p>(5) 成人学校「湧水探訪 1」について</p> <p>(6) 市民講座について</p> <p>(7) その他</p> <p>3 その他</p> <p>(1) 企画実行委員連絡会について</p> <p>4 配付資料</p> <p>(1) 第 3 3 期公民館運営審議会 第 1 0 回審議会の報告 (概要)</p> <p>(2) 高齢者学級「シルバー大学」野外研修チラシ</p> <p>(3) まちづくり講座「市民だれもが観光大使 2」チラシ</p> <p>(4) 成人学校「湧水探訪 1」チラシ</p> <p>(5) 市民講座 (未定分) 案</p> <p>(6) 公民館事業の説明</p> <p>(7) 成人大学講座「江戸文学の魅力」実施報告資料</p>		

(要点筆記)

司会：苅込委員

1 公民館運営審議会の報告

若藤係長 概要は別紙報告のとおり。報告事項・・・①都公連委員部会運営委員会、研修会について②関東甲信越静公民館研究大会について、8月25日、26日に相模原市で開催。テーマ=「今、なぜ公民館が必要とされているか」③公民館事業の報告、本館からは「子どもの人権講座」を報告、質疑なし。

審議事項・・・①公民館事業の計画、本館から計画の提出なし。来年度の高齢者学級の見直しについて、生きがい広場を高齢者学級に戻し、シルバー大学を単独の事業として実施することを提案し了承された。②科学の祭典について、10月9日開催③公民館中長期計画の策定について。

2 事業の報告

(1)成人大学講座「江戸文学の魅力」について

長堀主事 全3回の講座が無事終了した。参加状況、感想等は別紙のとおり。定員200名のところ参加者総数は81名だった。昨年度の166名に比べ参加者が半減した。今年度は専門性が高いテーマだったので参加者が絞られたと思う。内容は3回とも充実しており、感想文からも参加者の満足度が高かったことが伺える。また、受付がとても親切だったとの感想をいただいております、担当していただいた企画実行委員の皆さんに感謝している。講座の感想をお伺いしたい。

岸川委員 天候に恵まれず、雨や残暑の中での開催となったが、出席率もよく、参加者が熱心だったのが印象的。講師陣も素晴らしく、温かい人柄が伝わってきた。

山本委員 本などからでは分らない、当時の時代背景や江戸文学の成り立ちなどが分った。成人大学講座の名にふさわしい奥の深い内容だった。全休者が多いのが気になった。欠席の場合は連絡を入れるのがルールである。申込み受けの際に一言伝えてはどうか。

司 会 参加される方の意識の問題であり、新たな課題となる。

宗像委員 古典文学に触れるのは初めてだったが、どの回も講師のお話が分りやすく、楽しく学べた。人形浄瑠璃の回では映像を使った講義が効果的で良かった。

長堀主事 今回の講師選定にあたり、学芸大学の地域連携係の担当者より次のような指摘を受けた。「本学は国語や社会に特化した大学ではないため、所属教員の専門がすべての教科・時代を網羅しているわけではない」「テーマを絞られた場合、お引き受けできない可能性もある」「予め本学の所属教員の専門をお調べいただいた上でテーマを設定し、教員を指定してご照会いただきたい」

来年度より、東京学芸大学に講師依頼する場合、予め専門分野を調べた上で企画するか、教員を特定した上で依頼する必要があると考える。

2 事業の計画

(1)シルバー大学について

長堀主事 11月9日実施の野外研修のチラシをお配りした。1時間程度館内を見学し、2時から全員で4次元デジタル宇宙シアターを見学、その後解散予定。バスの時刻表も載せた。駐輪場もあるので自転車利用も可能。

山本委員 当日は他の団体もいるのか。

長堀主事 不明だが、シアターは1団体限定とのこと。なお、11月9日の野外研修でシルバー大学は最終回となる。

(2)生きがい広場について

倉澤主任 9/12「男と女のおしゃれ術」元ファッションモデルの講師を招き、一人ひとり自分に似合う色を選んでもらい、スカーフを巻いてファッションショーを行った。参加者からは「自分では絶対に選ばない色に挑戦できた」との声があった。

9/26に小田原方面野外研修を実施し、実踏に引き続き宗像委員に同行していただいた。反省点として、小田原城址公園、天守閣とも階段のみの箇所があり、途中でリタイアする方がいた。高齢者対象の行き先としては不向きだった。また、今年度はみどり号の乗降を本館前で行ったが、降車時に渋滞ができてしまったため、従前どおりリサイクルセンターでの集散に戻すことも検討する必要がある。

9/30、浅草方面野外研修の実踏を行い、山本委員に同行していただいた。距離は近いが、首都高速道路が予想以上に渋滞したため、当日の集合時刻を早める必要がある。

次回は10/17、「俳句」の講座。野外研修の参加費の集金もあるので、担当の企画実行委員の方には引き続きお手伝いをお願いしたい。

(3)菜園教室について

筈本主事 10/19に第2回野外研修を実施する。八街市方面でサツマイモと落花生の収穫を予定している。天候不順で予定していた農園では落花生が確保できず、市の商工課の方に他の農園を探していただいている。参加者は25名程度の予定。

菜園教室の講師である鴨下義昭さんが、先日東京都の功労者の表彰を受けた。昨日都庁での授賞式に出席した。表彰内容は「教育功労」で、長年にわたり生涯学習の振興について尽力されたことが認められての受賞となった。

(4)まちづくり講座について

加藤非常勤 前回、企画実行委員の皆さんにご指摘いただいた部分を反映させ、チラシを作成した。10/17より申し込みを開始する。

岸川委員 講師陣は小金井市に関係のある方たちなのか。

加藤非常勤 お2人はそれぞれ元市職員、小金井まちなか案内人であり、もうお1人は武蔵野市「水の学校」の経営に携わる方である。講師同士も面識があるとのこと。

(5)成人学校「湧水探訪1」について

加藤非常勤 講師と調整し、第1回目の実施が11月22日に決定した。歩く地域は東久留米市の落合川沿いで、以前本町分館の講座で歩いたコース。前は春だったが、今回は紅葉を楽しめる季節に行く。9時半に武蔵小金井駅前のバス停で集合し、全員でバスに乗って出発し、解散は東久留米駅。第2回目は桜の咲く頃の3月末に実施予定、場所は未定。

(6)市民講座について

倉澤主任 今年度未定分の市民講座について、前回ご提案した内容をもう少し具体的にお示しした。実施日時は1月～2月の平日夜間または土曜日、対象は30～40代または40～50代の女性を検討しており、新たな公民館利用者を発掘したいと考えている。なお、全4回分保育をつけることが可能となった。この方

向でご異議がないようなら、さらに内容を詰めていきたい。(異議なし)

(7)その他 (公民館事業の説明)

長堀主事 第24期企画実行委員は新任の方も多く、ご質問もいただいているので、別紙のとおり、公民館本館で実施している事業についての説明の資料をお配りした。【】内は自身のメモで、それ以外の出典は「小金井の教育」である。読んでいただくとそれぞれの講座のねらいや位置づけの違いがお分かりいただけると思う。

成人学校と市民講座について、各館での実施実態としてはかなり区別が曖昧になっている。両講座とも長い歴史の中で、段々と参加者のニーズも変化しており、時代に合わせて講座内容も変化していったのだろう。市民のニーズに合わせ、柔軟に講座内容を変えること自体は悪いことではないが、「小金井の教育」を教育委員会から発表している以上、記載内容と実施内容が違えば、市民に説明がつかず好ましくない。実施している講座の現状に合わせ、説明文も変更する必要があると考える。

山本委員 それぞれの講座に、このようにしっかりとした定義の違いがあるとは知らなかった。現状として、市民講座の多くが成人学校の内容(趣味やお楽しみ)と区別がつかなくなっていると感じている。実情に合わせて各講座を定義しなおし、しっかりと区別したほうが良い。その方が、我々も来年度以降の講座のテーマを考えやすい。

3 その他

(1)企画実行委員連絡会について

山本委員 10月18日の連絡会の打合せを、この会議終了後行うので、企画実行委員の皆さんは残っていただきたい。

次回会議：11月1日(火) 午前10時～ 公民館本館学習室Aにて